

平成 27 年度 放課後子ども教室運営委員会

会 議 録

日時 平成 28 年 2 月 15 日（月） 午前 10 時から

場所 清須市役所本庁舎 3 階小会議室

清 須 市 教 育 委 員 会

会議出席者

平成27年度清須市放課後子ども教室運営委員会会議録		
開催年月日	平成28年2月15日(月)	
開催場所	清須市役所本庁舎3階小会議室	
会議時間	午前10時00分～11時50分	
出席委員	小学校長代表	岡 春彦
	清須市子育て支援課主幹兼保育長	杉村 照代
	保護者代表(西枇杷島地区)	仙波 久美子
	保護者代表(清洲地区)	吉田 なやか
	保護者代表(新川地区)	宮川 典子
	保護者代表(春日地区)	福岡 ちずる
	西枇杷島放課後子ども教室指導員	荻本 時男
	清洲放課後子ども教室指導員	鈴木 治
	新川放課後子ども教室指導員	青木 伸代
	春日放課後子ども教室指導員	中田 繁美
事務局	教育長	齊藤 孝法
	教育部長	櫻井 広根(欠席)
	学校教育課長	丹羽 久登
	学校教育課学校教育副主幹兼係長	川村 幸一
	学校教育課学校教育係主任	渡辺 聖世
議 題	1 放課後子ども教室の現況について	
	2 平成28年度放課後子ども教室について	
	3 その他	
備 考	傍聴者 なし	

はじめに

丹羽課長

おはようございます。只今より、平成27年度放課後子ども教室運営委員会を始めさせていただきます。本日は大変お忙しい中、ご参集いただき、ありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、学校教育課長の丹羽と申します。よろしくお願ひします。なお、教育部長の櫻井ですけれども、所用がございまして欠席させていただきます。この委員会につきましては、公開とさせていただきますので、ご承知おきください。

はじめに、皆様方の席上に放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱状をお配りさせていただきました。本来、お一人ずつ直接交付するのが本意ではございますが時間の都合もございまして机上への配布させていただきました。委嘱状のお名前は間違っておりませんか。

それでは開会にあたりまして、齊藤教育長よりご挨拶をさせていただきます。

教育長 あいさつ

齊藤教育長

みなさん、こんにちは。2月4日の立春も過ぎまして、季節の上では春になってきたなど暖かい日も感じられますが、今週は寒波が来るのではないかということで、心配しております。今、学校ではインフルエンザが猛威を振るっておりまして、清須市保健所管内では県内で2番目に多くインフルエンザにかかっているということで報道されました。皆さんもお子さまも含めて、うがい手洗い等を気をつけていただきたいと思います。

さて、放課後子ども教室の目的は、共働きのご家庭・小1ギャップ・小1の壁をなくすことでありまして、業後の時間帯をもって人材育成を、少しでも子ども達が勉強や運動によって安全で安心して過ごしていただくことでございます。実際に、様々な理由で親御さまがご自宅に不在の際に先生方にお預かりいただき、日によっては多くのお子さんにお越しいただいております。放課後の先生方にはご無理いただいている状況も認識しております。問題点等ございましたら、このような会議の中で情報交換をしていただき、その中で思いも見えてくるかと思っておりますのでお伝えいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

議題

丹羽課長

ありがとうございました。では、資料の確認をさせていただきます。

次第、配席表、そして各地区の放課後子ども教室の現状をまとめていただきましたレジュメとなっております。よろしいでしょうか。

それでは、議題に入ります前に、皆様から自己紹介をお願いいたします。教育長から時計の反対回りの順で自己紹介をお願いします。清洲小学校の校長先生、岡先生をお願いします。

岡委員

清洲小学校の岡と申します。いつもお世話になっております。放課後の先生には、児童数が多い中300名以上も登録をしており、大変お世話になっております。今後も増えてくるかと思っておりますがよろしく願いします。

荻本委員	西枇杷島放課後子ども教室の指導員をやっております荻本と申します。6年経ちます。どうぞよろしくお願い致します。
鈴木委員	おはようございます。清洲放課後子ども教室の指導員をやっております鈴木と申します。私も開始以来6年経ちます。また来年度もがんばります。よろしくお願い致します。
青木委員	新川放課後子ども教室の指導員青木と申します。私は3年やらせていただいております。よろしくお願い致します。
中田委員	春日放課後子ども教室の中田と申します。2年くらい、お世話になっております。
渡辺主任	学校教育課の渡辺と申します。本日はよろしくお願いいたします。
川村副主幹	同じく学校教育課の川村と申します。放課後子ども教室を担当しております2年目になります。よろしくお願い致します。
福岡委員	春日小学校から保護者代表で参りました福岡と申します。よろしくお願い致します。
宮川委員	新川の放課後子ども教室でお世話になっております、宮川と申します。よろしくお願い致します。
吉田委員	清洲小学校の1年生と2年生の子どもを持つ母親の吉田です。よろしくお願い致します。
仙波委員	西枇杷島小学校で、中学生になりました上の子の時から、今は3年になります娘がお世話になっております。保護者代表の仙波と申します。よろしくお願い致します。
杉村委員	子育て支援課保育長の杉村と申します。よろしくお願い致します。いつもワクワクドキドキするような活動の報告をお聞きしまして、いつも清須の子ども達はとても幸せだなと感じております。本日もよろしくお願い致します。

丹羽課長

皆様、ありがとうございました。

それでは、次第に沿って議題に移らせていただきたいと思います。3番議題の（1）放課後子ども教室の現状について、事務局よりご報告させていただきます。よろしく願いいたします。

川村副主幹

学校教育課の川村と申します。私から、平成27年度の放課後子ども教室の現況について、ご報告させていただきます。

現在、清須市では、西枇杷島小学校、清洲小学校、新川小学校及び春日小学校において各小学校の施設をお借りして放課後子ども教室を実施しております。

放課後の子どもたちの居場所づくりとして学校内の余裕教室などを「放課後子ども教室用」に改修し、希望者の1年生から3年生までの児童を学習、軽スポーツ、伝統的な遊びを行なっております。

春日放課後子ども教室、新川放課後子ども教室で先行して開設し、平成22度から、西枇杷島放課後子ども教室、清洲放課後子ども教室が開設されました。

開所時間については、4施設とも給食のある月曜日から金曜日までの放課後から午後5時まで実施し、土、日、祝日、夏休み、冬休み、春休みなどは開設いたしておりません。お迎えについては、利用説明会でお願いしておりますように、必ず午後5時までに保護者又はそれに代わる大人がお迎えに来ていただき下校します。利用料金は無料ですが、傷害保険料として500円を負担していただいております。

運営については、指導員（コーディネーター）1名と補助員（アドバイザー）2名の計3名体制を基本として運営しておりますが、参加者が多数になると思われる日には、補助員を増員するなどして安全に行えるようしていただいております。

制度の定着などから、年々利用者が増加しており、利用登録者は本年度1月末現在で743人を数え、1日に利用者が100人を超える時もあります。特に学校行事に連動して参加者が多く、各教室で対応に苦慮しているところです。

今年度、各教室での事故は2月5日現在で、6件発生しておりますが、擦り傷・打撲等の軽微な怪我に止まり、今のところ大過なく子供たちも過ごせているようです。

今年度から放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブとの一体化・連携を実施しました。各学校で一緒に過ごしている子供たちが、

放課後にも一緒に運動場等で遊ぶことが出来て、子どもたちは楽しく過ごしているようです。

私からは、以上です。

丹羽課長

ただいま事務局より、清須市内の放課後子ども教室全体の経緯、現状、現況、課題をご報告させていただきました。続きまして、放課後子ども教室の先生方から、現状をご報告お願いしたいと思います。

それでは、西枇杷島放課後子ども教室からお願いします。座ってお話いただいて結構でございます。よろしくお願いします。

荻本委員

それでは、資料をご覧いただきたいと思います。登録者は今年度は176名おります。

2番目の「今年度の参加状況」ですが、別紙をご覧いただきまして、今年度は一日平均30名が参加しております。

3番目の「日々の活動」ですが、学習タイムで宿題などを30分程度行いまして、その後に自由タイムを行います。自由タイムは、工作、自由遊び、お絵描き、塗り絵、読書などで過ごしております。

他、いろいろなイベントを行っておりまして、月に1回第2木曜日におきまして、にしびさわやかプラザ2階の多目的ホールにてゲーム集会を開催しております。たくさんの参加者がおりまして、3つ程に分かれてチーム対抗でスタッフの考えたゲームを元気よく行っております。

2ページ目ですが、学期に2回程度、第3月曜日に読み聞かせ会を開催しております。西枇杷島の読み聞かせサークル「ぼびふべぼ」の方々に来ていただいて、いろんな紙芝居を読み聞かせいただいております。

また、毎月スタッフが考えた作品で1、2点の工作を行っております。

3ページ目ですが、学期に2～3回ずつ、お楽しみ会とミニ映画会を実施しております。1年生の歓迎会やクイズラリー、宝探しゲーム、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、節分の会、ひな祭りなど行っております。

また、特別講師を招いてのイベントを年に2～3回実施しております。今週金曜日に茶道教室を開かれている地域の方々をお招きして、茶道を教えていただく予定です。30名ほどが参加予定です。

民生児童委員さんに週に1回ずつ来ていただきまして、歌遊びや工作などをしたりして楽しく過ごしております。

先ほどご説明がありましたが、児童館との連携ということで、今年度

は11月12日にさわやかプラザでゲーム集会を行い、74名が参加しました。その他、オセロ大会、かるた大会、ドッジボール大会、風船バレーボール大会などを実施しております。

普段は、手作りの遊び道具で楽しく活動しております。

5ページ目ですが、月に1回、「西枇杷島放課後子ども教室だより」と「参加予定表」を配布しております。来れない人のためにも、日々の活動内容をお知らせしております。

5月29日、文部科学省から2名、県や市の教育委員会の方も合わせて10名ほどの方が、西枇杷島放課後子ども教室の視察に来られました。

4番目の「今年度を振り返って」ですが、今年度も大きな怪我や事故もなく、無事に1年過ごせて良かったと思います。季節折々の行事や映画会、ドッジボール大会などのイベントもたくさん企画し楽しむことができました。月1回のさわやかプラザでの活動は、今まで以上に参加者があり、子どもたちに好評でありました。快適な環境の中でしっかり楽しむことができて良かったです。来年度もさわやかプラザをお借りしていきたいと思います。

工作は、人気があります。制作を希望する子に100円ショップで買える安価な材料を持ってきてもらうことにしたため、工作の内容を充実することができました。非常にたくさん子どもたちが制作を希望してくれませんが、製作日数や指導の関係で、希望者全員に行わせることが出来なかったのが残念です。

学習タイムの時間は、落ち着いた静かな雰囲気です。宿題をさせたいと考えています。少しずつ集中できるようになってきましたが、さらに徹底させたいと思っています。

子どもたち同士のトラブルや揉め事も時々ありましたが、最近少しずつ減ってきました。特別支援学級在籍のお友達を手伝ったり、見守ったりする優しい心も育ってきました。しめ縄づくりの工作の時も、一緒に仲良く取り組んでいました。

また、部屋の掃除など進んでお手伝いする子どもたちが増えました。

今年度の参加者より、参加者がランドセルに着ける目印を変更しました。傷みが少なく、コンパクトな目印なのでよかったです。

今年度初めて児童館と放課後子ども教室の連携活動としてゲーム集会を開催しましたが、西枇杷島の場合は2つの施設が離れているため、時間的に制約されてしまいます。慌しく、実施には問題点が多いです。

また、運動場や体育館を利用できる機会が少なかったため、利用機会を増やすことができれば、身体をおもいつきり動かすことが出来るとい

いなと思います。

参加カードにつきましては、未記入のまま来室する児童が多くいました。その都度、保護者に電話連絡をして確認をしました。確実にご記入いただくようお願いしたいと思います。

5番目の「要望事項等」ですが、登録者数が増え、日々の参加人数も増えております。何かと予算面の検討をお願いしたいです。毎年、参加者が多いロッカーや靴箱、傘立ての数が不足するので困っています。

2、3年生の登録方法の見直しをお願いしたいです。保険料の支払いが済んでいない子どもたちが毎年多く、未払いで来室することがよくありました。新年度の登録申請書を、毎年学校に提出しておりますが、教育委員会へ直接提出させ、その時に保険料の支払い、利用カードの手引きや参加カード、ランドセルに着ける目印などを手渡しするように変更してはいかがでしょうか。

また、他教室で活用されている外部講師を共有して活用できるとありがたいです。

最後に、男子トイレの便器の数が少ないのと、不衛生なとで困っています。

丹羽課長

ありがとうございました。西枇杷島放課後子ども教室の荻本先生から、現況と活動状況、課題等についてご報告いただきました。

保護者代表の方から、何かご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。

仙波委員

放課後子ども教室にずっと通わせていただいておりますが、親の就労状況にかかわらず預かってもらえて、子ども目線で活動していただいておりますが大変ありがたいと思っております。放課後子ども教室には、楽しいと言って毎日のように通っております。季節の行事も楽しみにしておりますし、普段気づかないようなことも、放課後子ども教室の話から子どもたちの成長をみることができ、大変感謝しております。以上です。

丹羽課長

ありがとうございます。続きまして、清洲放課後子ども教室の鈴木先生、よろしく申し上げます。

鈴木委員

それでは、資料が5枚ございます。

最初に表紙の登録者ですが、今年度は316名でして、1年生が115名、2年生が96名、3年生が105名です。

続きまして、「日課」です。学習の時間は45分間充てて、その後は遊びの時間で、室内であったり、学校に無理を言って体育館を使わせていただいたり、運動場もお借りしております。あと、1学期間はオセロ大会、2学期間は将棋大会、3学期間は囲碁大会を行い学期末に表彰を行います。また、物作り教室を月に2回程度1週間行います。短縮日程などの来室の早い日は、ビデオ視聴を組んでいます。

その次のページは、月に2回の物作り教室の様子を写真に収めたものです。

3枚目のページは、現状です。登録人数は、22年度は90名、23年度170名、24年度241名、25年度275名、26年度293名、今年度は316名で順調に増えております。

「参加状況」ですが、1日平均が22年度は36名、23年度48名、24年度57名、25年度70名、昨年度は66名、今年度は71名です。1日の最高人数は、22年度57名、23年度100名、24年度122名、25年度125名、昨年度は119名で、今年度は135名です。事故発生状況は、22年度1名、23年度1名、24年度2名、25年度5名、26年度6名で、今年度は今のところ4名です。毎日通ってくる児童はもちろんおりますが、週に1、2度、3、4度、月に1、2度など決まった曜日に通ってくる児童が多く、参加人数が曜日によって偏ることはあまりないです。毎年同じ傾向ではありますが、学校の特別日課の早い帰りの時は参加者が多人数になります。反対に、降雪などの異常気象や遠足の時は少人数になります。また、12月以降の日没が早い日、寒い日、インフルエンザの流行等では、参加人数が減少します。3学期は1学期の半分くらいになる印象があります。

また、「使用施設」ですが、学習テーブルは、年々数を増やしてきましたが、今年度は4人～6人がけのテーブルを18卓置いています。なんとか100人近く学べる状況です。ロッカーにつきましても、増段し、100人程度のランドセル等の収容ができます。100名を超えるときは、隣室の多目的室をお借りして対応しております。子どもたちの遊び場は、子ども教室と隣のオープンスペースです。子どもたちは外遊びが大好きですので、天気の良い日は、45分～1時間程度、運動場の周りや遊具等で自由に遊ばせています。体育館は部活動のない木曜日や、3学期は部活が終わるのが早いので使用していない時間帯で30分程度、利用させています。運動場や体育館の利用できない日など、時には、清

洲公園に行くこともあります。

「指導体制」ですが、指導員は5名で、男性1名、女性4名です。週に5日は1名で私ですが、週3日が3名、週2日が1名です。基本的には3人体制ですが、木曜日は4人体制で行っています。ただし、100名を超える日は特別日課の日ですが、4名体制で行っています。

「外部指導者」ですが、清須市内の「本の読み聞かせ」ボランティア、「ハッピーハッピー」さん「びくりばこ」さんにクリスマス会やお別れ会の折に来ていただいております。

次のページですが、児童クラブとの合同遊びの第1回実施後にアンケートを行ったものです。合同遊びに来ていない子も含めて136人にアンケートをとりました。結果は、「楽しかった」が80名、「楽しくなかった」14名、「参加していないのでわからない」42名、「次も、一緒に遊びたい」73名、「次は、一緒に遊びたくない」12名、「どちらでもよい」51名でした。教育委員会から、児童館と一緒にやってほしいという依頼を受けまして、7回計画いたしました。体育館の工事であったり、部活動で急遽体育館を使用することであったりとなつたため、実際できなかったこともあります。今年度はすでに4回実施いたしまして、7月10日は懇談会の日で、体育館にて名刺交換ゲーム等を行いました。参加者は204名で、放課後子ども教室からは135名、児童館からは69名が参加しました。9月3日は短縮授業の日で、部活動実施のためできませんでした。10月20日は就学時健診の日で、運動場で行いました。12月9日は懇談会の日でしたが、体育館工事が入ったため、「ハッピーハッピー」さんをお願いする予定でしたができませんでした。せっかくご準備いただいておりますが、大変残念がっております。来年度も依頼しようと思っております。12月11日は運動場で行いまして、ドッジボールを行いました。2月1日は体育館が特別日課の日でして、たまたま清洲小学校のほうで特別委員会でしたので体育館が使えるということで計画いたしました。3月17日は卒業式の準備ということで体育館が使えませんが、運動場で計画しております。

最後ですが、今年度の4月8日からの2月9日までの参加者人数です。4月は1年生が来ておりませんので少ないです。学年ごとの1日平均ですが、1年生は38名、2年生22名、3年生11名で全体で71名です。100名を超えた日は、懇談会の日です。

以上です。

丹羽課長

ありがとうございました。只今は、清洲地区の放課後子ども教室の現状報告でございました。続きまして、保護者の方からご意見がございましたら、よろしく願います。

吉田委員

清洲放課後子どもでお世話になりありがとうございます。私は仕事をしている者で、子どもを預かっていただき感謝しています。子どもたちも、学校が終わってからも楽しいとってほぼ毎日通っていたんですが、最近はお友達とお話したいということで、週1回は放課後子どもをお休みしています。先生には宿題を教えてもらったり、遊び相手をしてもらったりしてとても楽しそうです。とってもびっくりしたことがあります。上の子が2年生なんですが、囲碁を家で教えたことがないのに、できるようになって、優勝したと言っていたのがとてもびっくりしました。一番いいなあと思ったことは、体育館で裸足で鬼ごっこをしていることです。清洲の放課後子ども教室は人数も多いので、先生たちも大変だと思うんですが、とても子どもたちのことを考えて接してくれているなあと思い、いつも感謝でいっぱいです。

一つお願いがあります。学校が終わって、うちの子は公園で遊ぶのですが、なかなか公園に遊びに来てくれる子というのが限られていて、小グループでの遊ぶ傾向があるので、もう少しみんなで遊ぶ機会を増やしていただくとありがたいです。どうしても子どもたちは、気の合った子ばかりと遊んでしまうので、自分のことだけになってしまいます。社会に行ってもいろんな人と関わるができるといいなあと思っていますので、そういう面を重視して欲しいと思っています。お願いします。

丹羽課長

ありがとうございました。公園について、鈴木先生はいかがですか。

鈴木委員

公園については、放課後のことでもあるのですが、肝心なことは異学年交流を進めたいですね。様子を見ていると、どうしても同じグループで固まって遊んでいるので、せつかく1年生～3年生までいるので、こちらから働きかけて交流させることは大事な事だと思っています。

くじを引いて、異学年とグループを組むといったことはありますので、

異学年交流を進めて行きたいと思います。

丹羽課長

公園につきましても、ご承知の通り、公園によって遊びの制限がなされているところが多いのが現状であります。ボール遊び禁止といったように、世代層によって遊び方が違う中で公園の利用の仕方が制約されておりますと、子どもたちがなかなか公園に遊びに行かなくなったことも現状でございます。公園を含めた施設管理のあり方も考えなくてはいけない課題だと認識しております。

それでは、新川地区の放課後子ども教室の青木先生、よろしくお願ひします。

青木委員

6つの資料と教室だよりを基に説明させていただきます。

表の下をご覧ください。登録者数ですが、昨年よりも11名が減少しておりますが、学年の在籍数の関係等で継続の登録者が減ったわけではございません。

他の放課後子ども教室と同じように、1学期の来室者は多いですが、日没が早い時期になってくると減少します。5月6月の最大人数を見ますと、5月が50人、6月が49人、7月が45人といった状況が続きます。アドバイザー3人と私を入れて4人体制で行っております。

来室者の増加に伴って、昨年度と同様に入室の仕方やロッカーの使用について、子どもたちが過ごしやすいように「きまり」を作って環境整備を整えています。子どもたちにも、やり方など定着してきておりますが、人数が多いところと運動的な活動が出来ないことが多くなってきて、部活のない木曜日など体育館を貸していただけるのですが、なかなか運動的な活動ができないのが実情です。

また、雨天時も出入りが狭くて、靴箱・傘置き場に置くのも雨の中待っていなければならない状況になりますので、昨年から学校の協力を得て、廊下からの入室をさせていただいています。

特別活動時の状況は、次のページになります。

やはり、特別活動時は来室者が多いです。1学期の懇談会の時は、83人で80人前後來室しました。2学期の懇談会の時も69名といったように60名前後來室します。それから、ものづくりの日ですが、日替わりで顔ぶれも変わるので、その日に作ってその日に持ち帰れるもので

ないとなかなか難しいので、スタッフで何をやろうかと悩んでいます。今年度は、1学期に自己紹介カードと、2学期にトールペイント、指編みマフラーを作りました。その他に、お楽しみ腹話術というイベントを企画しましたが、1年生が学級閉鎖になりまして残念ですがイベントは中止になりました。来年ぜひ行って欲しいです。

児童クラブとの交流会を12月10日に一度実施しました。やはり、大勢の人数で実施となりますと体育館を貸していただかないとできませんので、大変助かりました。

次のページに行きまして、資料3の「放課後児童クラブと放課後子ども教室交流会の実施について」です。平成27年の12月10日に新川小学校の体育館をお貸しいただいて実施しました。計画の段階では、児童クラブは50名、子ども教室は約40名の参加希望がありましたが実際は放課後子ども教室は26名の参加者でした。木曜日はドッジボールをやることが多いのですが、その日はドッジボールじゃないということでは来なかった児童が何人いました。予想よりは少なかったですが、全体では78名の参加者でした。楽しかったよ、と話しかけてくれた児童がいてよかったです。

それから、次のページの資料4「教室環境」ですが、2、3年生と1年生で2教室を使用して分かれ、今年度は表のような形で行っています。教室1は静かタイムで1年生、教室2のほうは2、3年生ということで実施しています。自由タイムの時は、それぞれで入れ替わり、あちらこちらにいます。昨年度までは、廊下で座卓を置いて折り紙コーナーとしたり、紙飛行機を飛ばしたり、簡単な遊びをしていたんですけども、なかなか動きまわる様な活動は目の届かない時もあることを考え、教室内だけの活動、配置に切り替えました。

また、通常はほぼ充足しているのですが、特別日課の日は靴箱やロッカーが不足します。

それから、平成27年7月13日の「放課後子ども教室だより」の「じかんわり」を見てください。こちらに、資料5「平成27年度きほんのじかんわり」ということで、基本的には入室して30分くらいは静かタイムに宿題とかぬり絵とか落ち着いた活動をするということで、静かタイムを設定しています。水曜日だけは、1年生だけが早く来ますので、みんなでタイムを設けて、1年生全体でゲームをしたり宿題をしたりしています。宿題についても1年生に習慣づけることが大事なということで、一人ひとり先生に持ってきて、数字が正しく書けているかどうかとか、答えの確認をしっかりとしています。ドリルやワークが多いの

で、そういった確認もしています。2、3年生については、碁石を置いて丁寧にやっているかどうかといった確認と、正しく出来たかといった確認を一つ一つ確認しています。

資料1に戻っていただいて、月ごとの予定表を参加者に出させていただいております。やはり、その日の来る参加者の人数が読めないものですから、ある程度多めに用意していきますが無駄になることが多々ありますので、通常の数で用意して予告なしでイベントをするようにしています。

先ほどご覧いただいた「放課後子ども教室だより」を学期に1回発行しています。ひと月ごとにイベントなど行ったことを載せて、お知らせしています。

以上です。

丹羽課長

ありがとうございました。引き続き、保護者代表の方からご意見ございましたら、よろしくお願ひします。

宮川委員

以前はもう少し時間が短かったかと伺っていたのですが、17時までになったということで、児童クラブのようにではありませんが、パート勤めの方にとっても、15時16時17時まで預かってもらえるということは、大変助かっているというのもよく聞きます。私の場合は、他の兄弟のお迎えに行かなければ行けませんので、その時間に家に帰ってきて一人でいなければならない時間に放課後子ども教室に預かってもらえるので、すごく助かっています。

まず行って、毎日宿題をやらせて遊んでもらえるので、うちの子は放課後子ども教室が楽しくて仕方がなくて、来年も習い事もやりたくないと言ってるくらいなんです。放課後へ行って、宿題を毎日やらせて、家で確認はするようにしてはいますけれども、家でなかなか読書とかしないので、放課後で読んできたというのも、いい習慣ができてうれしいなと思います。ぬり絵大賞は、はじめは興味がなかったんですけど、「ぬり絵大賞があるからがんばる」と言っていたり、けん玉もやったことがなかったんですけど先生に教えてもらって、みんなと競走しながら段を目指したり、家でもやるようになったりして、いろいろ教えてもらって良かったなあと思っています。

1年生から3年生までの子どもたちがいるので、普段では遊ばない子

どもたちとも遊べるのでいいなあと思います。先ほど先生がおっしゃられたように、なかなか体育館の利用が難しいようなんですが、本当に木曜日のドッジボールの日は5時前にしか迎えに来ちゃダメだよというくらいです。大変だとは思いますが、体育館の利用が増えればもっと喜ぶんじゃないかと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

丹羽課長

ありがとうございました。それでは、最後になりますけれども、春日地区の放課後子ども教室からの報告、よろしくお願いいたします。

中田委員

ほぼ、皆さんが言われたことと同じですので、皆さんが言われたことにプラスしてお話したいと思います。

私たちは、7人の指導員がいますが、3人ずつ担当して実施しています。人数が多いときは、3人ではとても耐えられないので、電話連絡をして空いている人に頼んで4人体制で行っていますが、そういう時はほぼボランティアで行ってもらっています。学校教育課に報告して多目に見てもらい、4人体制でもいいよと確認は取っていますが、だんだんだんだん月末になりますと、予算が足りないので余り使わないでと連絡を受けますので、もう少し予算をつけていただくと大変ありがたいです。

また、今年度は春日小学校の体育館の改修工事を行っておりましたので、夏休みから12月のはじめまで体育館が使用できませんでしたので、小学校の小運動場を使わせていただいております。とても放課後の子どもたちが遊ぶスペースがないということで、いつもは遊んでいけない遊具がある交通公園の運動場も貸してもらえることになりました。遊具を使うので、遊ぶときは必ず先生が2人は必要なので、教室に1人、外に2人出て実施しました。幸いにも、誰一人怪我することなく過ごせたのでよかったなと思っています。転んだり、落ちたり、倒れたり、少々の怪我というのはありましたけれども、病院にも行かずに対処できました。保護者の方がお迎えに来るときは、大変だったんですけども、保護者の方は子どもがどこで遊んでいるかが分かると、お子さんの荷物を先に取りに来てから、子どもを迎えに行ってくれるということがありました。

そして、放課後子ども教室の壁が、2年前からポロポロポロポロ剥が

れてきていたんですけれども、耐震補強をしていただいたおかげで、子ども教室の壁もきれいにさせていただき、控え室の壁も直していただきました。その際に、7、8年分の荷物を片付けるいい機会にもなりまして、冬休み返上で大掃除ができ、きれいになりました。要望をほぼ聞いていただきまして、川村さんに感謝しております。体育館シューズ入れも、自分たちで作っていたのですが、予算がありますと言っただけだったので、きれいに作っていただいたので感謝しております。施行業者さんには、必ず学校教育課に話をしてから僕たちに言ってね、という形でいい結果をいただいて喜んでいる次第であります。とってもきれいになりました、環境が良くなりました。

それに付随することなのですが、10月の就学時健診の時に、体育館代替で運動場も雨などで使えなかったらどうしようねと思っていました。私たちは、月に1回ミーティングを行っているのですが、その際に夢の森が近いから、夢の森にミニピクニックに行くのはどうかということで提案しました。事故が起きたらどうすればいいのかなどと指導員の間でも意見が割れましたが、安全対策をしてこういう風に計画をしたらどうかと提案しました。学校教育課に恐る恐る提案したところ、温かい言葉と許可をいただいて、実施させていただくことになりました。結果は大成功で、その時には89人の参加でこちらもびっくりしましたが、4人体制でやらせていただきました。子どもたちにも、初めての企画で、事前指導もしましたが、楽しく過ごしてくれて、またやりたいと言ってくれました。

ミニピクニックでは何をやろうということになった時は、夢の森公園はグラウンドが使えますので、小運動会のように、1年生から3年生までの縦割りグループを作って行いました。3年生にリーダーになってもらい仕切らせて考えさせたところ、普段おうちやくの子もがんばってくれて、1、2年生に積極的に教えてあげて、グループがすごく一体になったことはよかったと思いました。二人三脚をやりました。二人三脚をやったことがない子が多くおまして、笑いこけながら教わっていました。私たちが小さいときに遊んできたことを何も知らないんだなと気づきました。おもしろいからもう一回やりたいということで、体育館で企画しました。さすがに2回目は上手になっておまして、ああこれも経験なんだな、たくさん経験させてあげたいな、と思いました。イベントが5枠ありますのでフル活用したいと思い、跳び箱、マット教室を2回やりました。跳び箱が飛べない、でんぐりがえりができない、後転がえりができない子がたくさんいました。今は、布団ではなくベッドが多い子た

ちがいるので、やったことのない子たちがいることがびっくりしました。でも、やったことのない子どもたちも、2回企画したイベントでしたのでできるようになり、家でもよくやっているという保護者の声もいただき、昔の遊びも取り入れてやっていきたいなと思っております。イベント情報を掲示板に貼っておくのですが、イベントがある時はやはり人数が増えます。

あと、春日に朝日新聞社があるのですが、3月17日は早く帰ってくるので、見学に行きたいなあとと思って申し込みました。朝日新聞社からも地域の人に還元したいとのことで、無料で見学させていただくことになりました。一人ひとり新聞も作ってくれるということで応募しました。夕刊はこうやって作るんだというところを見せたいなと思っております。見学は歩いていきたいと思っておりますので、川村さん、またよろしくをお願いします。

児童館との交流ですが、春日は3年目になります。当初はすごく楽しく遊んでいたのですが、だんだんだんだん遊びたくない雰囲気です。「児童館来るの～」ということで、放課後の先生は優しくしすぎたかなとも反省しています。児童館の先生は、あれやっていかん、これやっていかんと言って放課後の子どもにも厳しく指導するので、放課後の子どもたちには楽しくないと感じていました。ドッジボールをやっていたのですが、児童館の方針でボールはやわらかボールを使用し、当たっても痛くもなくスピードも出ません。放課後は普通のボールを使用していますので痛いですがスピードが出ます。やわらかボールを使用してのドッジボールは楽しくないと子どもたちがいっているのが、現状です。指導方法により、放課後のやり方が甘いのかなという反省もありますが、児童館のように怒ってばかりいるのも私も思われたらいけないと考えさせられる今年度1年でした。来年度になると子どもたちの質も変わりますので、どうなるかは分かりませんが、放課後は放課後、児童館は児童館で、たまに放課後の仲間が遊んでくれない子は児童館の子と遊ぶといったように、自然な感じで遊んでいます。話し合いで一緒に遊ぼうと言うことも当初は遊んでいましたが、今は自由に好きなときに好きなように遊べばいいねということで、その場にいるという感じでやっています。

以上です。

丹羽課長

ありがとうございました。それでは、春日放課後子ども教室の代表の

方、お願いいたします。

福岡委員

私は平成22年度の放課後子ども教室立ち上げの時から、一番上のお姉ちゃんと年子の妹、今小学校1年生の娘で3人お世話になっております。最初平成22年の頃は私が妊婦ということで、なかなかお迎えに行くことも大変だったので、登録だけでした。基本的にあまり参加させてあげることができなかったんですね。今、一番下の娘がいて最初に思ったことが、すごく内容が豊富になったということです。最初は、預けるだけで大丈夫なのかなということで親としての不安がありましたが、だんだんだんだん見てきて、他の保護者の方たちの話を聞いていると、以前と雰囲気が違うんだなというような感じです。以前が悪かったと言うことではなくて、質がすごく良くなったということです。やはり、体育館で遊んだり外で遊んだりと、すごくいっぱいやっていただいて、感謝しています。お勉強もしていただいていて、しっかり宿題をやって、それから運動場へ行ったり好きなことをやらせてくれたりと、毎日にも行きたいと言って行かせています。

先生も先ほどおっしゃっていたんですが、耐震工事がやっと終わったんですが、工事の最中は晴れた日は基本運動場で遊んでいました。教室での活動もあったのですが、音がうるさかったりペンキの臭いがひどかったり教室の中にいられる状況ではなかったです。そんな中、先生たちが工夫していただいて、1年生から3年生まで楽しく遊べるように、いろんなことをやっていただきました。うちの子は、教室の中で遊びたいという子なのですが、子どもが「夢の森に遠足に行くんだよ」と言っていて不思議に思ったんですが、「夢の森に行くんだよ」と言うので、お迎えの時に先生方にお話を伺いました。先生方も「こういった企画をしたので、ご心配でしょうけれどご参加いただけますか」ということでした。徒歩で行くということなど、保護者の方とお話されていて、心配事も全てご説明いただき、ちゃんとして行くから大丈夫なんだと思いました。保護者も先生方にお任せで、お願いしますという風です。放課後でお世話になっている保護者の知り合いほとんどが、すごく助かっています。

放課後で1年生から3年生まで楽しく遊べる場所なんですが、やはり学年ごとで遊んで、外ではドッジボールなどをしています。子どもたちは3年生のあの子は誰かと聞くと、「○○ちゃんだよ」と、直接交流がなくても子どもたちは知っていて、道で会っても「放課後のお姉ちゃんだよ、あのお兄ちゃんは放課後にいるよ」といった風に覚えています。

外で会っても安心だと思ふ交流があつて、放課後子ども教室って子どもたちにとつても保護者にとつてもなくてならない存在なので、継続していつて欲しいと思つています。先生たちばかりにお願いしてばかりではいけないんだな、先生たちに聞かれたら私たち保護者も参加できるようにしなきゃいけないんだな、と本当につくづく感じて、感謝ばかりです。朝日新聞の企画も初耳で、子どもたちがいろいろな経験ができるんだなど、環境に恵まれているところだなと感じています。これからもよろしくお願ひします。

以上です。

吉田委員

今、新川、西枇、清洲、春日に1つずつ放課後教室があるんですが、小学校でないところもありますよね。新川であれば星の宮と桃栄、清洲であれば清洲東小にはありませんが、知り合いの何人かのお母さんがどうして放課後をしてないのかと言う意見がすごく出ております。最初はお試してみたいな感じで始まったと伺つておりましたが、今後そういう学校にもできてくるという話はあるのでしょうか。

丹羽課長

この要望につきましては、この場以外でも来ております。
ご承知の通り、もともと合併する前に放課後子ども教室が始まったのは春日なんですね。先進的にやらせていただきまして、春日以外の3町は合併した際は、新川、西枇、清洲と言つた順で試験的に始めさせていただきました。他の4つの学校につきましては、児童館がございまして充足しているのではないかと思いつつも、今後、公平性平等性といった観点から当然立ち上げなければいけないと思つております。
しかしながら、人材確保の面、予算確保の面から難しく検討中でございます。

仙波委員

でも、運営していく中で必要であれば、怪我等をしたときのために払う保険料だけでなく、児童クラブさんたちみたいなそこまでの金額を支払うのではなく、利用する必要がある保護者にとっては惜しまず支払うと思ひます。学校の中で多少なりとも手助けできる環境であれば、少なからず親たちは放課後に対してお金を惜しまないと思ふんです。そ

れだけ、利用したいといった要望があるということは、それだけお願いしたい保護者がいっぱいいるんですよ。就労の関係等で放課後児童クラブには入れない人たちも中にはいるんですよ。始めてから何年も経っているのに、ない学校があるなんて、あるのが当たり前なのに、びっくりしています。変な話、名古屋市ではトワイライトが全部の学校にありますよね。放課後子どもに少しでもお金をかけて運営してきてくれている名古屋市の隣なのに、清須市としても実施していかなければいけないと思うんですよ。

丹羽課長

おっしゃる通りです。

仙波委員

保護者の代表からも、こういった意見が出ていますよ、と毎年意見がでていくかと思えます。

丹羽課長

貴重なご意見ありがとうございました。

吉田委員

放課後がない学校の保護者からも、卑屈になるくらい要望されています。

丹羽課長

検討させていただきます。ありがとうございました。
それでは本日、小学校の代表として清洲小学校の校長先生である岡校長先生、ご意見ございましたら、よろしく申し上げます。

岡委員

意見といいますか、本校の放課後子ども教室のことしか分からないんですけども、お話を伺って、本当に放課後子ども教室の大きさを改めて確認することができました。

本校で言いますと、鈴木先生にお世話になっておりまして、もともと定員の100名ということでスタートを聞いておりましたが、初年度、2年目から遥かに超えているという状況で、その中で鈴木先生が100名の枠を越えて受入れをしていただいております。本当に大変さを感じております。指導員が5名で最大が4名ということで、どの放課後も同

じように運営されていると思うんですが、本校で言うと特に児童数が多い135名も登録があると、その中でよく4名で工夫されてやられているなどよく思います。

放課後子ども教室の環境は本当に素晴らしくて、魅力的な部屋を作られていて、入ると本当にワクワクするような環境づくり、それから本当に幅広い活動をされてみえるなどと思います。将棋、囲碁をはじめ、先生のご努力や工夫の上でされているなど感じます。

学校との連携でいいますと、急遽工事が入ったりすると予定の変更を余儀なくされるといったところがありました。この点では、私たちも非常に反省しなければならないなど感じております。自分自身も、放課後との連携について、あってはいけないのですが、うっかりすることがありまして、連絡調整をしっかりとしていかなければいけないなど改めて思いました。

前を思い出した話で言って申し訳ないのですが、児童館の募集と放課後の募集の時期がずれていますよね。一緒になると分かりやすいなど思ったのですが、現状はどうなっているのかということ伺えたらと思います。

丹羽課長

ありがとうございました。只今、校長先生からお話がありました、児童クラブと放課後の募集時期がずれているということに関して、事務局から回答をお願いします。

川村副主幹

放課後子ども教室というのはですね、新2年生、新3年生は3月に募集をかけております。児童クラブのほうは、確か1月2月だったと思うんですが、募集は放課後のほうは年度当初に間に合うように設定させていただいております。児童館と話はしておりませんので、今の状況が続いております。

岡委員

自分が前に思ったのは、募集が一緒だとわかりやすいなど思いました。あと、放課後は募集の時期的に新1年生は5月から始まるのがしょうがないかと思うのですが、4月中は児童館に預けます5月からは放課後子ども教室に預けますという子どもたちが大変多く存在するかと思うんですね。そういう流れからすると致し方ないかなとは、ちらっと思ったことはあります。

川村副主幹	<p>放課後子ども教室はですね、新1年生が5月ゴールデンウィーク明けに始まります。小学校に入ってですね、学校から帰りまして、通学路を覚えていただきたいということで、5月のゴールデンウィーク明けに利用開始とさせていただきます。</p>
丹羽課長	<p>よろしいですか。ありがとうございました。続きまして、保育長の杉村先生からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
杉村委員	<p>私は、子育て支援課を担当させていただいておりますので、本日も最後のほうに保護者の方々からいただいた児童館との連携の中での課題点につきまして、児童館の職員等の厳しさとか、運動場の利用が少ないとかを教えてくださいまして、支援課のほうに戻りまして、事務局に報告させていただきたいと思います。今後のちょっとした変化にお気づきいただければ、ありがたいかなと思います。</p> <p>それから、子育て支援課と学校教育の両輪で、教育長のお話もありましたけれども、清須の大切な子どもさんたちに、安全で楽しい生活の場や体を使って心が動くという遊びの場の提供を、今後もしていただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
丹羽課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、来年度の放課後子ども教室につきまして、放課後子ども教室の事務局からご説明させていただきます。</p>
川村副主幹	<p>基本的には27年度と同様です。</p> <p>例年通り、新2年生、新3年生は始業式の翌日から参加となり、新1年生はゴールデンウィーク明けからの参加です。2、3年生向けに新年度のご案内を3月中旬までに配布する予定です。</p> <p>今年度は台風などの災害による放課後子ども教室の中止はしてありませんが、本年度と同様、利用説明会の時に、事務局より災害時の子ども教室の開催についてのお知らせを、お配りする予定です。</p> <p>運営については、今年度の清洲放課後子ども教室の利用者数が多いことを考慮し、安全に放課後子ども教室を行えるように、補助員を増やし</p>

て運営していく予定です。

27年度から実施しました、放課後子ども総合プランとしての、放課後児童クラブとの一体化・連携を引き続き実施する予定です。放課後児童クラブの指導員と放課後子ども教室の指導員とが協議しながら、実施していく予定ですので、よろしくをお願いします。

以上でございます。

丹羽課長

只今、来年度の放課後子ども教室につきまして、簡単にご説明させていただきました。この点につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、承ります。いかがでしょうか。

岡委員

確認なんですけれども、新2、3年生が3月中旬までに募集ということですね。新1年生はいかがですか。

川村副主幹

新1年生は、西枇、清洲、新川さんは4月、春日さんは3月です。

丹羽課長

今のお話ですと、新1年生については春日だけ3月中にあり、他の放課後については4月に入ってからご案内させていただくということでございます。いかがでしょうか。

それでは、次第の課題の(3)その他でございますけれども、特に事務局からご用意はさせていただいておりませんが、ここまでで、何かご質問等ございますでしょうか。

仙波委員

次の年度の2、3年生が申し込みがあるじゃないですか。学校に提出をしますよね。学校からいただいて、学校に提出するのでしょうか。その時に、放課後教室に提出じゃ駄目なんじゃないでしょうか。そうすると、出ないよとかの声かけができるんでしょうけど、出してないとか忘れてたとか何やかんやの事情で出せなかったというのがあったりすると困るのは保護者だし、子どもなんです。学校は、基本的に配布をするだけ、ただそれをもらうだけ、その子が放課後に行っているかどうかは、そこまで先生たちの認識はランドセルの色分けしかないもので、だったら放課後教室の先生方に渡すのが確実に継続できるんですが、そういうのでは駄

目なんでしょうか。

川村副主幹

連絡をいただいて、学校のほうにも放課後に出すというように連絡をしていただくのであれば、放課後でも構いません。基本的には、学校を通して出させていただきます。

中田委員

去年は、いろいろ申し込むのを忘れた人がいたみたいなんですが、今年はそれがないように、甘やかしながら、放課後でも声かけとか掲示板に「いついつまでで募集し終了ですよ」というふうに出そうかなと計画しています。

誰が来るかということがわからないので、小学校の先生からのほうが一番いいかと思います。放課後に来ていない人も通わせたいと思うので、ある人は放課後である人は学校というのは、バラつきが出てしまいますので、放課後の保護者の方々には声かけをしていきますので、よろしくお願いいたします。

荻本委員

保険料は、教育委員会に出せばいいんですよね。

川村副主幹

保険料につきましては、こちらから納付書をお渡しいたしまして、金融機関や支所に出させていただきます。

荻本委員

直接、教育委員会に出すのは、いかんですか。

川村副主幹

できますけれども、会計課を通じて支払っていただきます。

荻本委員

保険料を払わないで来ちゃった児童が結構いるものですから、申し込みと同時に支払うことはできませんか。

川村副主幹	保険料は会計の年度をまたぎますので、難しいです。
鈴木委員	保険料の切り替えは、更新は6月でしょ。2、3年生の切り替えは前年度の保険料で怪我しても大丈夫。保険料を払わなくたって、参加さえ出しておけば大丈夫。教育委員会へいちいち払いに行ったら、大変なことだね。事務的に考えたら、仕方がないのかなと思います。
中田委員	春日は説明会で2、3年生も払うんですけど、他はどうですか。
川村副主幹	他は、新1年生だけが、その場で払います。
吉田委員	年度途中での申し込みはできますか。
川村副主幹	年度途中は、西枇杷、清洲、新川はできます。
吉田委員	去年聞いた話なんですけど、始めは児童館で預ける予定だったんですけども、児童館は合わないからやめたい、放課後途中で替わりたいといったらできないといわれたそうなんですけど、年度途中での申し込みはできますか。
川村副主幹	できます。そういったことは、聞いたことがありません。
丹羽課長	よろしいでしょうか。
岡委員	先ほどの登録についてですが、やっぱり学校にご提出いただいたほうが、学校も把握していかなければ行けないものですから、自分たちにとってはありがたいです。年度当初でこの子は放課後に登録してる、児童館に登録しているといったことは、きちんとしておきたいところです。登下校の関係もあります。児童館のほうは、早めに名簿をいただけるのでチェックをしていけるのですが、放課後は直前になりますので、学校としては学校経由がありがたいです。
丹羽課長	よろしいでしょうか。 貴重なご意見、ありがとうございます。これをもちまして、本年度の放課後子ども教室運営委員会を終了させていただきます。本日もありがとうございます。

|

以上

○閉会（時刻：午前11時50分）